

## 「伝統文化継承による6町村共育事業」

実施団体：木曾広域連合（実施エリア：長野県木曾他）

本事業はCATV事業を運営する木曾広域連合が、CMS(Content Management System)を利用した新たな地域学習・交流の場「木曾文化継承・共育システム」を構築し、主に地域の学校への展開を通して地域遺産の継承と保存に資するとともに、広く住民及び観光客に郷土の魅力を伝えている。また、本事業と連携して展開している防災・防犯、地域医療のポータル等も併せて、ICTを活用した住民サービスの普及・促進を図っている。

### 事業化の背景

- 急峻な山岳地帯にあり、「木曾檜」に代表される農林業やスキー等の観光を基幹産業とする長野県木曾地域は、若年層の流出等による高齢化率が3割を超える過疎地域である。
- 過疎化に伴い、林業・森林保全に由来する伝統技術や山岳信仰、地域の祭礼行事といった豊かな木曾の伝統文化・山里生活を尊ぶ価値観の衰微・断絶が懸念されていた。
- 本地域の6町村で構成される広域連合はCATV事業や光ネットワーク運営事業に積極的に取り組んでおり、CATVの自主番組制作を通して地域の伝統文化や祭事、及びそれらを支える地域住民の姿を長年取材し、その魅力を深く理解するとともに、伝える映像素材も豊富に保有していた。
- 一方、広域に散在する住民向けの公共サービスを効率的に提供するため、高速ネットワークを活用したサービスに積極的な姿勢を見せていたが、住民への浸透に課題を抱えていた。
- 上記の状況を打開するため、多様な地域文化の映像素材及び高速ネットワークを最大限活用しようと本事業が発案された。

### 事業内容

「文化圏を同じくする6町村がそれぞれ長年に渡って形成してきた地域ならではの衣食住、慣習や振舞いを地域特有の文化と捉え、文化継承を通して地域振興を図る」ことをコンセプトに、下記の目標を掲げて地域SNS等の（当時）先進的取り組みを含め様々なブロードバンドサービスを展開、地域におけるICTサービスの普及を行っている。

- 木曾檜や木工品、中山道の宿場町の景観等、地域住民が中心となって保存（デジタルアーカイブ化）・共有・交流することで、既存文化の継承と発展を促進する
- 木曾全体の文化の保存・次世代への継承そして新たな資源や産業を生み出し、住民同士や近隣・都市住民との情報交流や情報発信、口コミ情報による地域ブランド「木曾ブランド」を確立する
- 「道の駅」等の観光施設とのコラボレーションによる木曾へのリアルな訪問促進や、森林セラピー体験等のイベント・観光事業により、交流人口の増加と既存施設を有効活用するための活動へ発展させていく

#### ■ システムの特徴

##### 1.映像活用型ナレッジ共有システム

- ・木曾文化遺産等のHD動画の保存・配信が可能
- ・映像掲示板機能  
映像のタイムラインにコメントを付与できる
- ・通常のWindowsMediaビデオを利用し、既存コンテンツの再利用も容易

##### 2.地域ポータルサイト管理システム

- ・コンテンツ管理機能
- ・マルチデバイス用コンテンツ変換機能  
コンテンツを登録すると自動的に携帯端末向けに変換する
- ・コンテンツ作成と確認機能  
入力フォームに従って進めるだけで簡単にコンテンツが作成でき、色・音声等の確認もできる
- ・アンケート機能

##### 3.易しい操作性のCMS・SNS・ブログシステム

バーチャルなグループの形成から、地域内外とのコミュニケーションも簡単操作で利用できる

### 導入費用

#### ■ 本システム導入の概算費用(実績ベース)

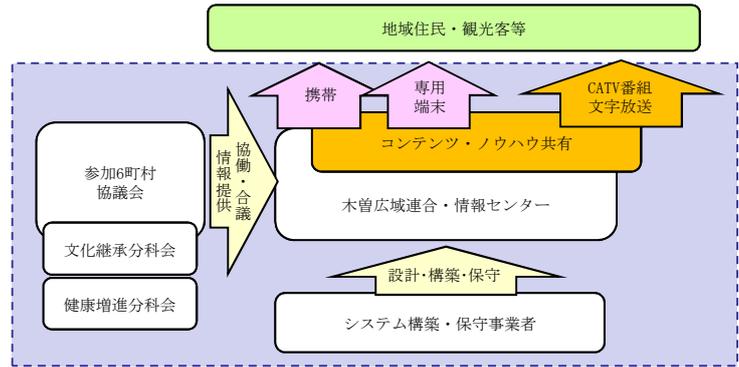
- ・導入費用：約11,394万円  
内訳：システム開発・構築費
- ・運用費用：約400万円/年  
内訳：システム保守費

※本システム構築時からICTシステムのクラウド化・低廉化が進んでいるため、新規に導入する場合の費用等については次頁の問合せ先にご相談下さい。



### 事業実施体制・運営状況

1. 当実施団体が6町村及び関係機関との調整を行い、CATV事業で蓄積した映像素材を地域SNSや地域ポータルサイトのコンテンツとして展開し多目的で活用する、コンテンツのマルチユースによる効率的な事業を展開している。
2. 平成22年度の総務省「地域ICT活用広域連携事業」において、防災・防犯、地域医療のポータル機能を併設し、更なるICT活用による利便性の向上を図っている。



### ICT活用の3要素:「つなげる力」「見える化力」「横串を通す力」から見る、本事業の特徴・差別化要素

つなげる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化伝承コンテンツは、高齢者層や観光客にもアピールする内容になっており、地域文化を支える人々の繋がり・仲間意識の醸成につながっている。</li> <li>■ 地域住民にとってはブロードバンドを活用した各種サービスは無くしてはならない存在となっており、転勤者等の地域外からの新住民にとっても利便性の高い仕組みと評価されている。</li> </ul>
見える化力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の小中学校等における教育的コンテンツとして活用され、伝統伝承の一助になっている。</li> <li>■ 現在は防災・防犯サービス等も併設され、地域の情報が即時に把握できる。</li> </ul>
横串を通す力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CATV事業で培った有形・無形の資産をマルチユースで展開することで、精度の高い情報が提供されるとともに、コンテンツ制作に伴う経費も圧縮できる。</li> <li>■ CMSの仕組みをさらに転用し、文化伝承のインフラだけでなく、防災等の情報についても複数のメディアを駆使して配信・伝達することができる。</li> </ul>

### 事業の成果（アウトカム／アウトプット）

- 特に平成26年度に当地域を襲った豪雨・噴火災害をきっかけにサービス利用者はさらに増加している。
  - 防災機能については、災害の後、メーリングリスト登録やHPアクセス数が急激に増加（7月単月推計前年比+35%）

月平均アクセス数/投稿数の推移	H25上期 (4-9月)	H25下期 (10-3月)	H26上期 (4-9月)
SNS月間平均アクセス数	38,868件	38,132件	41,136件
SNS月間平均投稿数	978件	—	877件



### 今後の展望

- コンテンツが地域向けの情報を中心となるため地域住民の支持はあるが、地域外への魅力発信という観点からは改善の余地がある。また、住民による自主的発信の促進については引き続き取り組む。
- 集落単位の情報を配信してしまうため、ユーザーの登録情報を基に発信内容を制御できる仕組みができないか検討中。
- 地域文化伝承のためにも「継続することが大事」な事業であると認識しており、地域外ユーザー向けの民間SNSベースの活動や学校の場での活動（子供たちへの伝承）を継続して実施したい。

<実施団体の横顔>

木曾連合は長野県木曾地域の3町3村の特別地方公共団体です。

**木曾広域連合**

<本件に関する問い合わせ先・導入検討・視察の相談先>

電話 0264-23-1050  
e-mail:soumu[atmark]kisoji.com